

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
プロダクトデザイン実習5											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	大山敏弘			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
幅広くプロダクトデザインの知識と技術を学ぶ。											
到達目標											
スケジュールや予算を管理し、デザイナーとしてクライアントとコミュニケーションを取りプロジェクトを遂行できるようになる。											
授業方法											
課題を通じてクライアントを理解し、業界の動向を踏まえた内容でプロダクトを表現することができるようになることを目指す。合わせて相手に伝わりやすい内容、プレゼンテーションの研究をし表現することを目指す。											
成績評価方法											
課題50%課題を総合的に評価する。ワークシート20%授業内容の理解度を確認するために実施する。レポート20%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点10%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
学生同士、教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中は積極的に取り組み、分からないことをそのままにせず解決する。自分だけで取り組まず、アイデアを人に伝え合うことができるようにする。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	課題について理解する、スケジュールを立てることができる										
第2回	リサーチ能力が向上し、より良いアイデアが創出できるようになる①										
第3回	リサーチ能力が向上し、より良いアイデアが創出できるようになる②										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン科	
プロダクトデザイン実習5	
第4回	コンセプトを明快に立てることができる
第5回	リサーチをもとにラフデザインを描くことができる
第6回	ラフデザインを図面に落とし込むことできる①
第7回	ラフデザインを図面に落とし込むことできる②
第8回	進捗を発表し、今後の方向性を決めていくことができる
第9回	リプランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる①
第10回	リプランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる②
第11回	リプランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる③
第12回	リプランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる④
第13回	リプランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる⑤
第14回	完済した作品を堂々と人に伝え、感動させることができる
第15回	作品まとめ